



インスピレーションになる
2018-2019
国際ロータリーのテーマ

高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY
国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2019227
第49巻
第32号
通巻
2314号

ロータリー一月間 今月:平和と紛争予防/紛争解決 月間 来月:水と衛生 月間

2月20日の例会より

『 自衛隊 茨城地方協力本部長の卓話 』

本日の例会には、かねてよりご講話をお願いしていた自衛隊茨城地方協力本部から、1等陸佐山下慎一本部長、地元の日立出張所から3等海佐倉持成年所長、榮留静徳高萩市担当広報官をお迎えし、講話をいただいた。

山下本部長自ら、自衛隊の現況と3.11東日本大震災での災害出動等について、35分にわたり、詳しく熱心に説明していただき、拝聴した次第である。以下、その概要である。

自衛隊の地方協力本部は、全国に50か所あり、茨城では水戸の本部のほかに、竜ヶ崎、土浦、筑西に地域事務所、日立出張所、百里分駐所、水戸募集案内所で募集業務や広報をしています。

私は、宮崎県出身です。男兄弟3人とも、自衛官で、地方協力本部長を経験いたしました。全国で仕事をして、今日の任務を担当しています。

ほとんど、単身赴任で仕事をしています。本日は、防衛と安全保障の諸任務について説明したいのですが、まず、全国に展開する、自衛隊の配置状況、その即応体制を図面でご理解いただき、その中の災害出動について、詳しく報告する。

何よりも、東日本大震災での災害出動は、大きな教訓を残しました。昨年、自衛隊の中に新たに陸上総隊という司令部ができて、1都10県を管轄し、即応体制がより強化されました。

テレビなどで、除雪作業をする自衛隊の姿を見て、「うちの前の雪を除雪してほしい」と自衛隊駐屯地に電話をかけてくる市民がいるが、出動に



上 1等陸佐 山下慎一本部長の講話

は、公共性がある事、緊急の事態であること、ほかに対応策がない状況で、県知事の要請を受けて出動しています。

しかし、現在は、緊急性を判断し、自衛隊が自発的に即応体制を整え、1時間でも30分でも待機時間を短縮し、出動できるようになっています。災害といいますと、地震、風水害、火山噴火、山林火災、雪害、などであり、離島からの患者輸送も大事な任務です。

県内では勝田の施設学校が、直ちに対応する即応連絡体制を整備しています。そして県内44市町村にすぐに派遣される部隊配置ができています。

自衛隊には、こうした社会貢献ができる多くの仕事と職域があり、自分の趣味や得意分野を生かしながら、将来の自分を実現できるフィールドがあります。

月 日	プログラム	担 当	2月20日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
2月27日	クラブ協議会	会長・幹事			
3月6日	卓話 高萩民話の会	プログラム委員会	29	17	10
3月13日	会員卓話	プログラム委員会	出席率：62.96%		
3月20日	新会員卓話	プログラム委員会	前々週訂正：77.78%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505
■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>
■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：福田 文乃
幹 事：大河原 浩
例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

公共イメージ委員：田所和雄 石平光 上田良三 小森勇一 大高司郎 石君平 花園文熙 棚谷 稔 鈴木直登

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



上 右 山下本部長、中 倉持出張所長

次に災害派遣の報告ですが、2011年3月11日の大震災の災害出動は、大変な経験であり大きな教訓を残しました。

大震災と原子力災害が同時に発生したわけですから、10万人態勢で、9か月にわたって災害派遣が実施されました。北海道でも九州でも一部の師団を残して東北に集中したのです。アメリカ軍もトモダチ作戦で参加したので、JTF、ジョイント・タスクフォース（統合本部）が役割を果たしました。

まず、人命救助、そして、捜索活動を徹底し、次に瓦礫の除去等復旧活動を展開したわけですが、困ったことに、あまりにも多くの人がなくなって、御遺体の搬送もするようになりました。

いつもやっている給水活動などとは違って、上官から、「大切に扱うよう」と指示が出ており、隊員は感情移入が強く、夜中に集団で泣き出す場面もあり、集団的な心理療法を採り入れ、まさに泣きながら次の日の活動に取り組みました。そうした経験から、以後は臨床心理士も配置された。

もう一つ、3月14日第3号原子炉が爆発しました。真水を原子炉に注入して冷やすことが求められ、中央特殊防護隊が全国から集められ、出動しました。化学防護車がたくさんあるわけではなく、隊長は、ほろ付きの車で、爆発に遭遇したわけですが、そういう経過の中で隊員の士気は高まり集中したのです。

さらに危険なのは、原子炉への放水でした。CH47機で、測ると、放射能は247ミリシーベルト。仕事のできる線量ではなかったが、とにかく水を入れることだ、そうでないと、日本がつぶれるという危機感が切迫していた。

こうして、放水の効果は、水よりも、まず、士気を高めたことでした。オバマ大統領の賞賛、アメリカ軍の本気モード、東京電力も本気モードになった。各部隊の司令官の思いはどうだったのかと聞かれるが、通常の勤務に臨む平常心と冷静な対応であったようです。

福田文乃 会長挨拶

自衛隊の山下本部長様始め皆様、本日は本当にご苦勞様でございます。卓話よろしくお願ひいたします。本日は、特別月間に因んで、「ロータリーの友」から、「難民を知る」をご紹介します。

アンリという女性の物語、2017年8月末以降、ミャンマーからバングラデシュへとロヒンギヤ難民が多数流出したそうです。午前3時、武装した男たちが村に到着すると、人々を拉致し、食料や金銭を要求。アンリの家族は村を逃げざるを得なくなりました。持ち物は衣服だけでした。川を渡って、ぬかるんだ野原を越えてジャングル、時には、高い丘を登らなければなりません。二人の幼い子供をアンリさんが抱えて、夫は足の悪い義母を抱えて逃げてきたそうです。バングラデシュで安全を得た家族は、ビニールシートと竹を使いシェルターを立てたそうです。

次は、2011年内戦によってシリアからヨルダンへ、家が破壊され真冬の中子供たちを抱えて故郷を去ったそうです。子供を抱えた旅は困難を極めたそうです。

2016年南スーダンでも戦火が親子を襲いウガンダへ7日間、96kmを歩き続けたそうです。子供と共に安全を求め何キロも歩き、口にしたのは、野生のキイチゴだけとありました。常に半分目を開けたままで寝たそうです。いつ攻撃されるかわからないからだそうです。可哀想です。そしていつも、どこでも弱者が犠牲になります。

ロータリーの取り組みとして、奉仕プロジェクト、平和フェローシップ、奨学会さまざまなかたちで、紛争の根底にある諸問題（貧困・不平等・民族間の緊張・教育機会の欠如・資源の不均等など）に取り組んでいます。

1983～84年度財団奨学生の中村恵さんは、難民に対する理解を深め、活動に参加してほしいとありました。

私の所に以前、長崎出身のインターンがいました。その方は、被爆2世でした。「僕は結婚しません、もし、結婚しても、子供は作りません、僕で終わりになるなら」と。そして、必ず平和が一番、平和が一番と言っていました。特別月間にあたり、紹介申しました。

祝御入会 平野 浩司 様

オート・フィールド 社長

日立市十王町伊師 20-25

大河原浩幹事より、2月13日理事会の承認決定に基づき発表されました入会の件につき、2月20日の例会で、正式入会の発表がありました。

こころから歓迎申し上げます。

平成31年2月20日(水) 幹事報告原稿

- ① 2820 地区より、地区補助金管理セミナー
3月10日(日) ダイヤモンドホール
- ② ガバナー事務所より、地区大会のチラシ
- ③ 2019年決議審議会 決議案提出のお願いが届く。
- ④ 高橋ガバナー事務所より、2019年ハンブルク大会の参加募集案内が届く。
- ⑤ ハイライトよねやまが届く。
- ⑥ 高萩市教育委員会より、2019年花いっぱい運動に係る調査依頼が届く。
- ⑦ 大塚郵便局山田さんより、出前講座参加についてお礼状が届く。
- ⑧ 高萩市高齢福祉課より、平成30年度高萩市生涯現役推進事業の案内が届く。第1部：日向亭 葵さんの講演会
第2部：高萩市内医療関係者・介護職員による演劇。
- ⑨ 水戸 RC、水戸西 RC より、週報が届く。
- ⑨ 平野浩司さん入会が決定。

高萩中学校へ 2月22日

出前授業「職業の意義と喜び」実施

高萩中学校1年生80名に対し、学校の正式の教育課程に基づいて総合学習2時間の授業「職業の意義と喜び」の授業を行った。

授業進行は、今川隆青少年奉仕委員長、始めの挨拶は、福田文乃会長、鈴木啓志職業奉仕委員長。

パネラー講師は、美容理容業界から飯泉健史さん 歯科衛生士松本さん、消防署の救急救命士池澤さん、幼稚園の先生後藤香織さんの4名。それぞれの職業について、熱心な質疑と講話が展開された。



上 授業の始まり 視聴覚教室



授業の前半の主活動は、パネラーの話をインタビュー形式で聞くこと、この場面は、理容美容の仕事

について聞いている場面

右は、池澤救急救命士が生徒の質問を受け今川委員長が仲介役として参加している。



授業は、今川委員長の授業進行が大変良く盛会裏に終了した。

1月31日に実施した秋山中学校からは、パネラー全員に、おおむね次のような礼状が届いている。

「(前文略) さて、先日は、私たちの進路学習会一職業の意義と喜び一において貴重なお話をさせていただき、誠にありがとうございました。お陰さまで、私は責任をもって仕事に取り組むたいっせつさを学ぶことができました。また、好きなことを仕事にするということについて大変印象に残っています。

私は、将来、責任をもって動物の命を預かる仕事に就きたいと考えています。そのため今できることを見つけて努力したいと思います。そしてその時には、山田様が話されていた言葉を思い出し、目標に向かって精いっぱい頑張りたいと思います。(後略)」



今川隆会員に米山功労者に対する感謝状が、財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長より贈られ、福田会長が伝達した。

今川会員は、22日高萩中学校で授業を行い、翌23日には、幹事報告⑧の医療関係者連携事業の介護リハビリ啓発劇の公演に出演し、大活躍。



大高司郎会員に地区クラブ奉仕総括委員長の委嘱状が伝達交付された。

【お客様】

自衛隊 茨城地方本部長	一等陸佐	山下慎一様
日立出張所長	三等海尉	倉持成年様
本部長	一等陸曹	菊地 壮様
高萩市自衛隊家族会 前会長		根本 栄様
副会長		浅野徹也様
家族会		根本 茂様

【メイクアップ】

2/10 第2回地区総括委員長会議 大高司郎

【ニコニコ BOX】

沼田操さん：本部長の山下さん倉持さん、根本さんお世話に成ります。

石君平さん：山下慎一様、皆様高萩までよくいらっしゃいました。卓話楽しみにしています。

小森勇一さん：自衛隊茨城地方協力本部長、一等陸佐山下慎一様はじめ皆様、本日はようこそ、いらっしゃいました。卓話ごくろうさまです。

鈴木啓志さん：先週の例会、お世話になりました。本日の例会、楽しみにしております。

福田文乃さん：自衛隊の皆様、ようこそ、今日は、よろしくお祈いします。

大河原浩さん：山下一等陸佐様、本日はようこそいらっしゃいました。どうぞよろしくお祈いします。

石平光さん：本日のお客様山下本部長他自衛官の皆様多数ご多忙の所、当ロータリークラブにおいて頂き誠に有難うございます。本日はよろしくお祈い致します。

鈴木直登さん：山下本部長本日はありがとうございます。

花園文熙さん：本日は卓話楽しみにしております。

上田良三さん、石川武信さん、江尻寛さん、

大高司郎さん、棚谷稔さん、今川隆さん、

櫻井高志さん、菱川健司さん

本日計 19,000円

累計 582,500円

【ロータリー財団】

本日計 2,000円

累計 583,440円

【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 40,580円

【米山記念奨学会】

本日計 4,000円

累計 377,200円